

調査概要

学習についての調査・研究は、これまでも数多く行われており、福武書店教育研究所でも、過去10年間にわたって、児童・生徒に調査を実施してきた。本調査は、学習の好き嫌い、学習行動、学習方法といった表面的な事象にとどまらず、学習への姿勢、環境、日常生活の中での学習といった、幅広い意味での学習の実態を把握することを目的として実施した。

また、小・中・高校という学校間の時系列の変化・特徴を把握できるように、調査項目を作成した。今後、経年で実施し時代による変化も把握できるように質問を配慮した。

留意点としては、

- ①原則として小・中・高校共通に質問できる項目に限定した。
- ②時代の変化が読み取れるように、各項目は毎回の調査で使用できるように配慮した。
- ③日本の児童・生徒の調査結果となるべく調査校を選定した。具体的には、大都市(東京23区内)、地方都市(四国の県庁所在地)、郡部(東北地方)の3地域。
- ④対象学年は、最も安定していると思われる第二学年を選んだ。
- ⑤さらに、高校に関しては、進学状況による特徴を探れるような対象校選定にした。

本書の概要

本書は、小・中学生の調査結果をまとめたものである。以下、小・中学生について説明する。

- <調査テーマ> 小・中学生の学習に関する意識・実態調査。
- <調査方法> 学校通しの質問紙による自記式調査。
- <調査時期> 1990年9月～10月。
- <調査対象> 全国3地域、大都市(東京23区内)、地方都市(四国の県庁所在地)、郡部(東北地方)の、小学生2,578名、中学生2,544名。
- <調査項目> 学校の授業/家での勉強/勉強の仕方/授業中のようす/学校外学習機関の利用/勉強観/健康状態、など。

<有効回収票の構成>

(人)

| | 小学生 | | | 中学生 | | |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 男子 | 女子 | 全体 | 男子 | 女子 | 全体 |
| 東京(23区内) | 471 | 397 | 868 | 419 | 423 | 842 |
| 東北(郡部) | 415 | 425 | 840 | 438 | 421 | 859 |
| 四国 (県庁所在地) | 433 | 437 | 870 | 420 | 423 | 843 |
| 合計 | 1,319 | 1,259 | 2,578 | 1,277 | 1,267 | 2,544 |

<執筆分担>

- 樋田大二郎(南山短期大学助教授)……………第1章
- 菊地栄治(国立教育研究所研究員)……………第2章
- 赤峰智子(福武書店教育研究所)……………補足資料